

## 「経友」編集後記

松島 齊

2023年1月7日

昨年は、長期化するコロナ禍やロシア・ウクライナ危機などの影響により、厳しい状況が続く1年でした。今後の見通しも立てにくいままの越年となりましたが、皆様におかれましてはお健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

東京大学は以前にも増して、異なる部局や専門の垣根を超えた、分野横断的「対話」を重視しています。社会に開かれ、社会に関連付けられた学び場に改革していくことを目指しています。環境保護、地域性、多様性、包摂といった理念は、人材育成、学知創出、社会連携の全局面における基本とされます。

東京大学のこのようなスタンスは、経済学研究科教授でいらした故宇沢弘文先生が提唱された「社会的共通資本」の概念と相通じます。これは、地球環境や社会環境を、誰かのものではなく人類の共有財産として捉え、その責任ある管理の仕組みを考えていくアプローチです。本学は「社会的共通資本としての東大」を目指しているのです。

経済学研究科においても、昨年5月より「社会的共通資本」寄付講座が設置されました。来年度には、東京大学マーケットデザインセンター（UTMD）に、「環境制度設計」部門が設置されます。図らずも東京大学の方針に合致する試みになりそうです。経済学研究科は今後、学内外を問わず、今までにない形でその存在感を示していきます。

経友会も、活動を充実させるため、経友会講演会シリーズを2021年からスタートさせました。本研究科教員に限らず、様々な分野でご活躍されている方を講師にお招きし、質疑応答を含め1時間半のイベントを2か月に1回の頻度で開催しています。今後の講演会に奮ってご参加ください。

また、経友会は、OBとのつながりをより確かなものになりたい思いで、「会員名簿システム」を昨年4月からスタートさせました。ご登録がお済みでない方は是非ご登録をお願いします。